



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

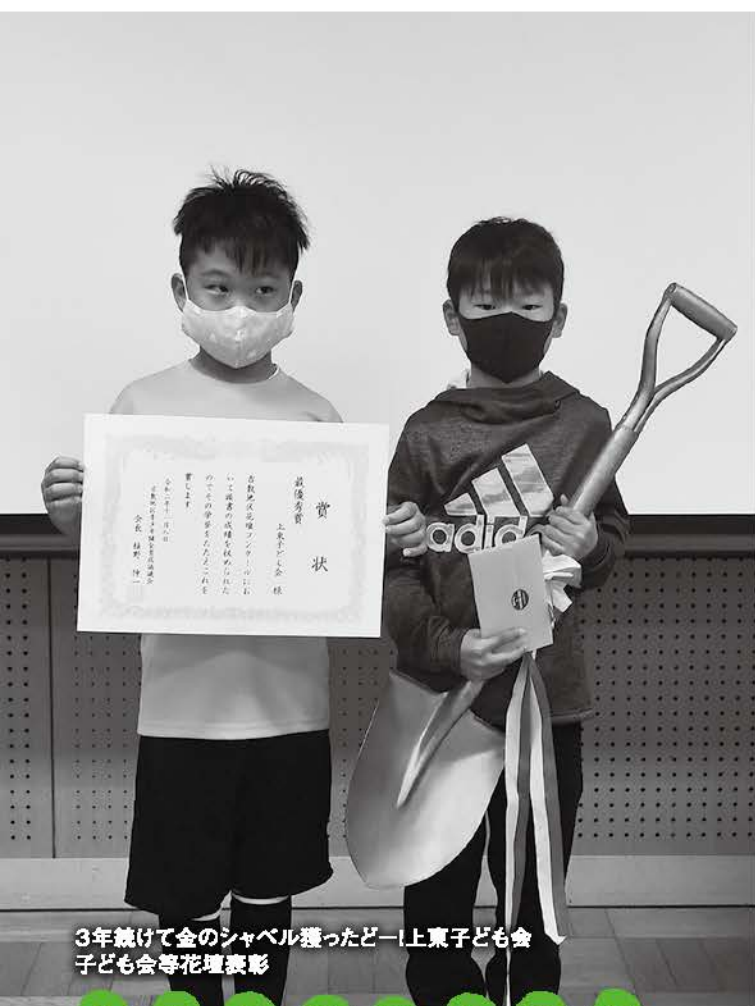
吉敷

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2020

12

No. 777



3年続けて金のシャベル獲ったぞー！上東子ども会
子ども会等花壇表彰



引き籠がれる地域行事
畑河内神社しめ縄のかけ替え



わーい、お菓子だ〜！で、みんなおなじお菓子？！
子育て講座「運動会」

CONTENTS

インフォメーション…… 2

【トピックス●】

フォトコンで吉敷を知り
元気で住みよいまちづくりへ…… 3

【地域のチカラ】

就労継続支援B型事業所
「鮎の里」…… 3

【トピックス●】

恒例行事 赤田神社秋まつり
今年の開催は新しい取り組みで！…… 4

【よしき四方山ばなし●】

「龍蔵寺の双扉」…… 4

【トピックス●】

下湯田環の開放を行いました…… 5

【吉敷の福祉・健康】

健康麻雀ロンロンサロン…… 5

レポート…… 6

【健康レシピ●】

「タンドリーチキン」…… 7

リレーエッセイ…… 7

イベントカレンダー…… 8

かけはし…… 8 よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,651(前月比+9) 【世帯数】6,319(前月比+11)

令和2年11月1日現在



イ・ン・フ・ォ・メ・ー・バ・ン

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

しめなわ飾りづくり

年末年始の風物詩といえる「しめなわ」です。みなで本格的なオリジナルしめなわを作りませんか。

とき 12月28日(月) 10時～12時

場所 地域交流センター 講堂

講師 難波未佐男氏(中尾西)

対象 小学生20名(先着順)

準備 飾りを持ち帰るための袋

申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-3915



講師の難波さん

地域交流センター新刊図書案内 ・緋色の残響

(長岡弘樹)

・にわのなかでなかまさがし

(ぶん・スミリティ・フラスダム・ホームズ)

え・ローナ・スコビー

やく・きたむらまさお

育児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

とき 1月13日(水) 13時30分～14時30分(受付時間)

場所 地域交流センター 和室

申込 不要

準備 母子健康手帳

問い合わせ 子育て保健課

☎083-921-7085

子育て講座「ベビーマッサージ」

ベビーマッサージは、目と目を合わせ、肌と肌で触れ合う親子のスキンシップです。

今回は、新型コロナウイルス対策として、密にならないように、2部制で行います。

とき 1月15日(金)

①10時～10時45分

②11時～11時45分

場所 つどいの広場「楽楽楽」

講師 澤野佑希氏(佐畑)

対象 産後1年前の赤ちゃんと保護者

①②各6組(先着順)

託児有(要申込)

準備 バスタオル、オムツ、飲み物

主催 母子保健推進委員

申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-3915

認知症について学ぶパート2

地区社協講演会

昨年度開催した同講演会。大好評につき、第2弾を開催します。

認知症ってどんな病気か知っていますか？認知症は、誰もが関わる可能性のある身近な病気だと言われています。認知症を学び、本人や家族が孤立しない吉数をつくっていきましょう。

当日は、感染予防対策のため、マスク着用のご協力をお願いします。

とき 1月24日(日) 10時～12時

場所 地域交流センター 講堂

演題 認知症ってなに？近所づきあいからわかった認知症の見守り合い、住みやすい吉数をつくらう

講師 阿部由紀氏(市瀬南地域包括支援センター 認知症地域支援推進員)

対象者 昨年度参加していない人を優先します。

定員 30名(先着順)

託児有(要申込)

主催 申込 地区社会福祉協議会

☎083-922-3344



昨年度の様子

放課後児童クラブ(もみじ学級)申し込み受付について

もみじ学級では、下校後の留守家庭の児童を保護者などに代わって、安全な環境で、健全な遊びや生活指導をしています。

令和3年4月からの入級を希望されるお子様を持つ保護者の方は、次のとおりお申し込みください。

定員 もみじ学級 60名・もみじ第2学級 56名・もみじ第3学級 60名

対象児童 小学1～6年生

開級時間 月曜日から金曜日までは、放課後から18時まで

土曜日は、8時30分から18時まで(8時から8時30分までは延長保育)

※17時から集団下級となりますが、18時までの保育を希望される方については、保護者のお迎えを条件とします。

※日曜日は祝日は閉級となります。

申込書類 もみじ学級・地区社会福祉協議会に設置

※申込書は12月15日からお渡しできます。

※受付期間は1月7日から15日まで

申込方法 持参または郵送

もみじ学級 〒753-0816 山口市吉敷佐畑三丁目3番3号

受付時間

平日 16時～18時

土曜日 9時～17時

申込締切 1月15日(金)必着

問い合わせ もみじ学級

☎083-932-3280



フォトコンで吉敷を知り 元気で住みよいまちづくりへ

第3回となる「よしきフォトコンテスト」も「笑顔あふれるふれあいのまち吉敷」をテーマに「吉敷の四季の風景とその中であふれあう人々の写真」や「イベントや行事で交流する人々の写真」を募集し、多くの方々に改めて地域のことを知っていただいたり、新たな交流を創出するために開催しました。

コロナ禍の影響から、外でのイベントも外出の機会も少なくなったにも関わらず、応募作品は175点となりました。

リーフレットで審査結果発表

11月16日(月)の審査会では、写真表現などについて審査が行われ、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点、良城商工振興会から特別賞13点が選ばれました。

昨年まで、広報紙で発表していた審査結果については、今年度は市報12月15日号市報配布に合わせ、新たに作成したリーフレットによりお知らせします。楽しみにしてください！



審査会の様子

受賞作品でカレンダー製作
今年も販売します！

第1回(第2回と製作した「よしきフォトコンカレンダー」を楽しみにして下さる方も増えてきた中、第3回目は、形を変えたカレンダーになりました。

吉敷の風景、人々の交流やふれあいを題材にした素晴らしい作品が月々のページを飾ってくれています。

【販売開始日】12月15日(火)
【価格】300円

第4回よしきフォトコンテスト 募集開始！

第4回よしきフォトコンテストは、今年度同様、交流する「人々の写真」や四季折々に姿を変える吉敷の美しい「風景の写真」を募集します。

応募に関する詳細は、12月15日市報配布時にお届けする応募チラシをご覧ください。また、地域づくり協議会ウェブサイトで確認いただけます。

たくさんのご応募お待ちしております。

【応募・問い合わせ】よしきフォトコンテスト実行委員会
山口市吉敷佐畑一丁目4-1

☎083-9022-3344

✉yosiki-photocon@bz03.plala.or.jp

※肖像権の侵害が生じないよう、応募者の責任においてご確認ください。

地域のチカラ

就労継続支援B型事業所 「鮎の里」

今年10月1日、吉敷赤田に「就労継続支援B型事業所 鮎の里」が設立されました。この事業所は、吉敷畑の多機能レジャー施設「鳳凰屋 鮎の里」と連携し、働きたいが自信や経験の少ない障がい者の方を対象に、社会復帰に向けての一步として、働く場所を提供しています。

心身ともに健康に働く機会を提供

仕事の内容は、「鳳凰屋 鮎の里」施設内の維持管理が中心です。鮎のつかみ取りやバーベキューなどの様々なアクティビティを体験できる場所として、「コロナ禍の夏にも人気を集めた自然豊かな場所です。施設が閉園する冬の間にも、畑を作ったり、レモンや柚子の植樹、鮎加工品の製造などをしていく予定です。

豊かな自然の中で体を動かし、心身ともに健康に働けるのが大きな魅力です。



自然豊かな仕事場

社会復帰の二助に

屋外での作業のほか、就職に必要な簡単なパソコン作業の訓練なども支援しています。自分で事業所まで来ることが難しい方には、状況に応じた無料の送迎も行っています。

事業所の管理者である河村未紀さんによると、学生時代には気付かれなかった学習やコミュニケーションの障害が、社会に出てからメンタル疾患となって表出することが多いようです。一度社会に出てから生きづらさを感じようになる方は多く、支援対象者の年齢は、10代・50代までと幅広くなっています。

河村さんは、この事業所がそうした方々の受け皿となり、社会復帰の一助となることができると考えているとのこと。

西鳳凰山のふもとの豊かな自然の中で、心身ともに健康に、日々楽しく作業できる環境を目指しています。



事業所は静かな住宅街に

問い合わせ「就労継続支援B型事業所 鮎の里」

山口市吉敷赤田2丁目13-25

☎083-901-5551

恒例行事 赤田神社秋まつり 今年の開催は新しい取り組みで！

10月17日(土)・18日(日)、周防五社の一つ赤田神社(四の宮)で、恒例の秋まつりが開催されました。

今年はコロナ禍での取り組みとして、いかに入出を制限して内容の充実したお祭りにするか？宮司をはじめとした関係者は大変苦慮されたようです。感染防止をしっかりと意識した、例年とは少し違った雰囲気の中での開催となりました。

前夜祭

17日(土)は、17時から神社の境内をステージとした奉納舞台が開演。地元の伝統を継承する鳳凰太鼓の演奏を皮切りに、パーカッション、弦楽器、ピアノの演奏、若手狂言師による狂言、元劇団四季・中井智彦さんの迫力あるオンライン演奏、ト리는、邪悪な大蛇を退治する地元若手も参加した石見神楽の舞でした。和洋折衷各イベントが21時過ぎまで繰り広げられました。神社境内のライトアップも色とりどりに、秋の夜長を幻想的に演出していました。地元企業の協力を得た音響や照明等には、地域の連帯感や力強さを感じます。来場者にはもれなく検温や感染アプリの導入などのチェックを実施したことは言うまでもありません。

当日

18日(日)は絶好の秋晴れ。例年なら「わっしょいーわっしょいー」の掛け声とともに古四宮まで練り歩く神輿は、今年は車載で移動奉納となりました。神社本殿での神事が挙行された後は、グランドピアノの演奏を聴きながらキッチンカー等の美味しい味覚を楽しみむなど、色々な世代の交流が深まりました。



オンライン奉納の様子

取材を終えて

コロナ禍の中、手探り状態でのイベント開催。従前は、賑やかなうちにいつの間にか終わっていたということもあつたかと思いますが、新しい生活様式対応での参加により、行事に対する理解をより深められたのではないのでしょうか。そのご時世に合わせた変化も、物事を継続していくためには必要だと思いました。(広報委員 植野伸一)

よき 四方山 ばなし

Vol. 16

「龍蔵寺の双扉」

吉敷郡秋穂の浦に一人の漁師がいました。ある日いつものように漁に出ました。珍しく大漁で、ずいぶんと沖に出てしまいました。慌てて帰り支度を始めると豪雨になり、船が沖へ沖へと流されてしまいました。その内に気を失って深い眠りに陥ってしまいました。

眼を覚ますと、どうも海岸の砂浜にたどり着いたようでした。仄かに明るくなったと思うと、忽然と老翁が現れ、漁師に「お前はどこから来たのか」と尋ねました。ここに辿り着きたいきさつを話し、「ここは一体どこですか。」と聞くと「ここは唐の国じゃ。」と答えました。びっくりした漁師は、「それじゃあ私はもう国へは帰れない。」と嘆きました。すると「若者よ、心配することはない。お前が帰りたければわたし

が何時でも帰してやる。その代り頼みがある。」と言うと一組の双扉を出し、「これを周防の国、吉敷郡の龍蔵寺の観世音に持参して納めてくれ、わしは観世音菩薩の使いになるぞ。」と言うとまるで煙のように消えてしまいました。

夜が明けてみると、海岸には船があり、老翁の言った双扉が置かれていました。漁師は半信半疑で船に乗ると、船は海の上を滑るようにして走り、アツという間に秋穂の浦に着きました。

漁師は「これこそ観世音菩薩の



四天王図鎗金扉

おかげじゃ」と、早速持ち帰った双扉を持って吉敷の龍蔵寺の観音さまを参詣して納めました。龍蔵寺所蔵の四天王図鎗金扉の伝説です。この双扉は国の重要文化財に指定されています。



下湯田堰の開放を行いました

11月3日(火・祝)、吉敷自治会河川浄化委員会の活動の一環として、大蔵地区の水利組合の協力を得て、前田川、錦川と吉敷川の合流地点に設置されている下湯田堰を開放しました。

堰の開放に期待するもの

堰とは、河川等をせき止めて上流側の水位を上げることによって、水を貯留したり、用水路などへの取水を容易にしたり、計画的な分流を行ったりする役割を持ちますが、その一方で、堰の上流では、川の流れが滞るなどの影響が考えられます。

河川浄化委員会での協議においても、特に前田川、錦川については、淀みによる水の濁りや葦や藻の繁殖が目立つなどの意見が多く出される中、ひとつの解決策として堰の開放に至りました。川の流れを生むことで、河川環境に良い効果が見込まれると期待しています。



下湯田堰(開放前)

水位が下がり見えたもの

堰の開放後、水位が下がり、土砂などの堆積物、葦や藻の繁殖状況など、川底の様子が明らかになりました。こうした堆積物などは、大雨降時、水位が上がる要因となるなど様々な影響を及ぼすと考えられます。



下湯田堰(開放後)

今後、下湯田堰の開放前後の写真を比較し、それぞれの河川の水量や川底の堆積物の状況、動植物等の変化を観察していきます。

その他にも問題点を整理し、河川管理者である県や市と連携し、河川浄化への取り組みを進めていくこととしています。

問い合わせ 吉敷自治会事務局
☎083-9222-1334

吉敷の福祉・健康

WELFARE AND HEALTH

吉敷高齢者生きがいセンター「げんきやかた」で活動する「健康麻雀ロンロンサロン」をご紹介します。

「健康麻雀ロンロンサロン」

平成29年10月に男性8名、女性8名で立ち上げました。現在のメンバーは24名。

健康麻雀で脳トレ♪

活動日は第2、4金曜日。第2金曜日は初心者の方のためにベテランメンバーが教えながらゲームを進め、第4金曜日は経験者と初心者の混成でゲームを楽しんでいます。

新型コロナウイルスの関係でしばらくお休みしていましたが10月から再開しました。



女性メンバーのほとんどは、牌(ばい)を初めて見る、触る方々が多く、良い脳トレーニングになっています。麻雀を楽しむ13時～17時はあっという間です。

年に1度の大会で腕前披露★

「ボン、チー、ロン!」と元気な声がどのテーブルからも聞こえて和気あいあいのメンバーですが、年に1度の大会の日は日頃の腕を競い合い、1位～5位、ブービー賞を決定。

みんなで賑やかに楽しく活動しています。

ご興味のある方はぜひ一緒に活動しませんか。

【代表者】小野 光恵

【問い合わせ】☎083-924-5692(小野宅)

【開催日】毎月第2、第4金曜日 13:00～17:00

【場所】吉敷高齢者生きがいセンター
「げんきやかた」

レポート

ちびっこ運動会

10月30日(金)、子育て講座「運動会」が開催。母子保健推進員、つどいの広場「楽楽楽」のスタッフが企画し、お父さん・お母さんと一緒に楽しく体を動かししました。



秋の自主訓練実施!

10月25日(日)、消防団吉敷分団が自主訓練を実施。消防ポンプ車や、地域内4か所に配備してある小型可搬ポンプなどと連携させた放水訓練を行いました。コロナ禍のため今年は活動自粛モードでしたが、約30人の団員が久しぶりに集まり、実践しながらの緊張感を保った訓練となりました。



安心につながる見守り活動のために

10月29日(木)、「小地区見守り訪問活動グループ員研修会」を開催しました。訪問活動は、町内会長や民生委員、福祉員が中心となったグループをつくり、安心して暮らし続けるために日頃から見守りを行っているものです。今年度はコロナ禍における有効的な見守り方法も含めて話し合いました。



コロナ禍でも楽しく活動!

10月30日(金)、「地域内福祉・子育て活動団体間交流会」を開催しました。あんの循環器内科の原田順子看護師長から「新型コロナウイルス感染拡大における対処法」を学び、コロナ禍でも安心してできる活動について各団体が工夫している点を意見交換し、交流を深めました。



楽楽楽の芋ほり♡

11月3日(火・祝)、楽楽楽の芋ほりを開催しました。晴れた空のもと、20組の親子が、秋の味覚「サツマイモ」の収穫に参加しました。土を掘り次から次へゴロゴロ出てくる芋を見て、子どもはもちろん、大人も童心にかえって和気あいあいと楽しむことができました。



風扇の頂へーみんなで挑戦

11月15日(日)、「子ども会東風扇ふれあいウォーク」が開催されました。小学生約40名、中高生ジュニアリーダー、保護者、役員に地域の方を含め、総勢85名が参加。検温と体調チェック、地蔵峠や山頂広場到着時には全員に手の消毒のコロナ対策。秋晴れの中、自然を体感できました。



コロナ禍での開催 今年度のふるさとまつり

吉敷地域では、秋の収穫のお祝いと文化活動の発表の場、交流の場として秋のまつりを毎年開催しています。今年度は、コロナ禍により多くのイベントの中止が相次ぐ中、吉敷地域では、ふるさとまつり企画委員が、「屋外の店を出せないが、文化活動の発表の場として、日頃の成果を見せようお祭りにしよう」と企画し、11月8日(日)に開催しました。毎年おまつりに関わる実行委員の皆さんが準備や当日の運営に参加し、「みんなできつくりあげるお祭り」を実感しました。

幼稚園や保育園、学校、地域内活動団体の作品を日頃の成果発表として展示し、今年新たに計画した動画による活動風景の紹介も行いました。地区青少年協が行なう子ども会等花壇表彰も行なわれ上東子ども会が最優秀賞の金のシャベルを獲得しました。コロナウイルス対策を十分に取りながら開催しましたが、予想以上に多くの人が会場に！みんなイベントを楽しみにしていたのですね。



健康レシピ

「タンドリーチキン」

吉敷地区食生活改善推進員監修

インド料理の一つで「タンドール」という円筒形の土窯で焼くチキンのことを言います。

スパイスの香りとピリッとした辛さが特徴です。

蛋白質がしっかり摂れます。付け合わせにトマトやレタスを添えるといいですよ。

食欲をそそる簡単な料理なので、クリスマスの一品に子どもと一緒に楽しく作ってみてください。



材料

【4人分】

- 鶏もも肉 240g
- ①
- カレー粉 大さじ1
- ヨーグルト 大さじ3
- ケチャップ 大さじ1
- 醤油 大さじ1
- 塩 小さじ1
- コショウ 少々
- ニンニク 小さじ1/2
- 生姜 小さじ1/2

作り方

- ① 鶏もも肉は一口大に切る。
ビニール袋に①を入れ、肉も入れ揉みこみ味を馴染ませる。
 - ② 天板にクッキングシートを敷き、作り方①で揉みこんだ肉を並べる。
200度のオーブンで10～15分焼く。
- 1人分:エネルギー181kcal、たんぱく質14g、脂質11.7g、
カルシウム28mg、塩分相当量1.4g

リレーエッセイ

Relay Essay

007

いしづ 石津 雅彦さん(赤田)



昨年2月に湯田のホテルで、高校の1970年卒業生同期会が開催され、同期生20名位参加していました。皆、白髪や髪が薄くなったり、自分を含め腹が出ている同期生が…。

ある同期生から「おまえは太ってる、痩せないといけん」と言われました。そう言えば、毎年友人、元同僚から送られて来る年賀状には「長生きしようぜ」の文章が書かれている事を思い出しました。翌朝、体重計に乗ると〇〇kg。その日から、ぼけ防止と健康の為、同食を控え体重を減らす為にウォーキングを始めました。1万歩歩けるルートを探し、雨天や用事がある日以外は週5日、1回1万歩以上歩くようにしています。春は良城小学校、出雲大社、維新公園の体育館、良城橋から西鳳凰山バックに見える吉敷川両岸の桜や山々の新緑。夏は吉敷川の柳。秋は出雲大社の紅葉や山々の紅葉がきれいです。快晴の日は、大橋から見る東鳳凰山と西鳳凰山がキレイで

す。冬は、山々に積もった雪でしょうか。

散歩途中、知り合いや小中高校生、ペットと散歩する方々と挨拶をしたり、出雲大社にお参りしたりしています。おかげさまで体重も減り、今のところ調子が良いです。長生きの為に、できる限りウォーキングをしたいと思います。

吉敷地域でも自分が歩いている所以外にも色々良いところがあるし、また別のルートを開拓したいし、コロナが収まれば海峡ウォークにも挑戦したいです。





1火	
2水	
3木	●町内会長会 18:30～
4金	
5土	
6日	
7月	●あいさつの日
8火	
9水	●地域づくり協議会運営委員会 18:30～
10木	
11金	●子育て講座「おやこクリスマス会」 10:00～11:00
12土	
13日	
14月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●年末大掃除避難・消火訓練 9:50～12:00
15火	●広報委員会 17:00～
16水	
17木	
18金	

19土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
20日	
21月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～
22火	
23水	
24木	
25金	●消防団年末夜警 19:00～22:00
26土	●消防団年末夜警 19:00～22:00
27日	
28月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00 ●しめなわ飾りづくり 10:00～12:00 P.2
29火	
30水	
31木	

1月のおもなイベント

10日	市消防出初式 市成人式
11祝	子ども会どんと焼き
13水	育児相談 13:30～14:30(受付時間) P.2
15金	子育て講座「ベビーマッサージ」 P.2
17日	市駅伝競走大会
24日	地区社協講演会 10:00～12:00 P.2

「風邪のシーズンと新型コロナウイルス」



だれがひいてもおかしくない風邪。普通なら未だしも新型が付くと大変な事になる。普通と同じ症状なので見分けがつかない。病院にかかりたくない。市販の風邪薬で済ませようとする人が多いのではないかな。

冬場は室内に集まりやすく、換気も不十分で3密になりやすく心配だ。生活習慣病などの基礎疾患を抱えている自分も重篤患者になる可能性大。病院に入院となるとこれまた大変。本人の意思が直接家族に通じない。どこかの病院も面会制限の状況。

3月以降は人の集まる各種行事、祭事、会議が制限される中で関係者は感染防止策を講じ事案の可否決定をしなければならなかった。

今まで続けた方法が出来ないのです。しかし書面議決、代替方法、中止等で効率効果や、執行予算が余り、他事業に予算を回すメリットもあった。

新型コロナウイルスの影響で、今後の出生数が減少することが懸念されている。世界的にも地球温暖化、異常気象、新型コロナウイルスと人類存亡の危機に直面しているのか？

災害の心配も、マスクも消毒も必要ない生活環境に戻りたい。

広報委員 内田秀高

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

